

第75回

法人企業景気予測調査結果

四国地方の概要

令和4年10月から12月期調査



財務省四国財務局

調	査	要	領	1					
1.	企	業	の	景	況	判	断	2	
2.	従	業	員	数	判	断	4		
3.	売	上	高	・	経	常	利	益	6
4.	設	備	投	資	8				
資	料	編	9						

調査要領

1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく一般統計調査として平成16年4～6月期から内閣府と財務省が共管で調査を実施。

2. 調査対象企業の範囲

資本金、出資金又は基金（以下、「資本金」という。）1千万円以上の法人企業。
ただし、「電気・ガス・水道」及び「金融、保険」は資本金1億円以上を対象。

3. 調査対象企業の選定方法及び調査票の回収状況

法人企業統計（統計法に基づく基幹統計）の法人名簿などを基に選定。

調査対象企業数及び回収状況

業種別 規模別	製造業			非製造業			全産業		
	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収率 (%)	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収率 (%)	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収率 (%)
大企業	30	29	96.7	46	44	95.7	76	73	96.1
中堅企業	47	45	95.7	68	66	97.1	115	111	96.5
中小企業	85	78	91.8	168	147	87.5	253	225	88.9
全規模	162	152	93.8	282	257	91.1	444	409	92.1

(注)本調査において大企業とは資本金10億円以上の企業を、中堅企業とは資本金1億円以上10億円未満の企業を、中小企業とは資本金1千万円以上1億円未満の企業をいう。

4. 調査時点

令和4年11月15日

5. 調査対象期間

- (1) 判断項目：現状（令和4年10～12月期及び12月末）
見通し（令和5年1～3月期及び3月末、令和5年4～6月期及び6月末）
- (2) 計数項目：令和4年度

6. 調査方法

調査票による郵送またはオンライン調査（自計記入による）

BSI (Business Survey Index) の計算方法

(例) 「企業の景況判断」の場合

前期と比べて「上昇」と回答した企業の構成比・・・30.0%
「不変」と回答した企業の構成比・・・25.0%
「下降」と回答した企業の構成比・・・40.0%
「不明」と回答した企業の構成比・・・5.0%

$$\text{BSI} = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比:30.0\%}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比:40.0\%}) = 10.0\% \text{ポイントの「下降」超}$$

1. 企業の景況判断 — 現状10~12月期は「下降」超幅が縮小、 先行き1~3月期は現状と同値で推移、 先行き4~6月期は「上昇」超に転じる見通し —

現状10~12月期は、全産業で▲4.6%ポイントと「下降」超幅が縮小している。

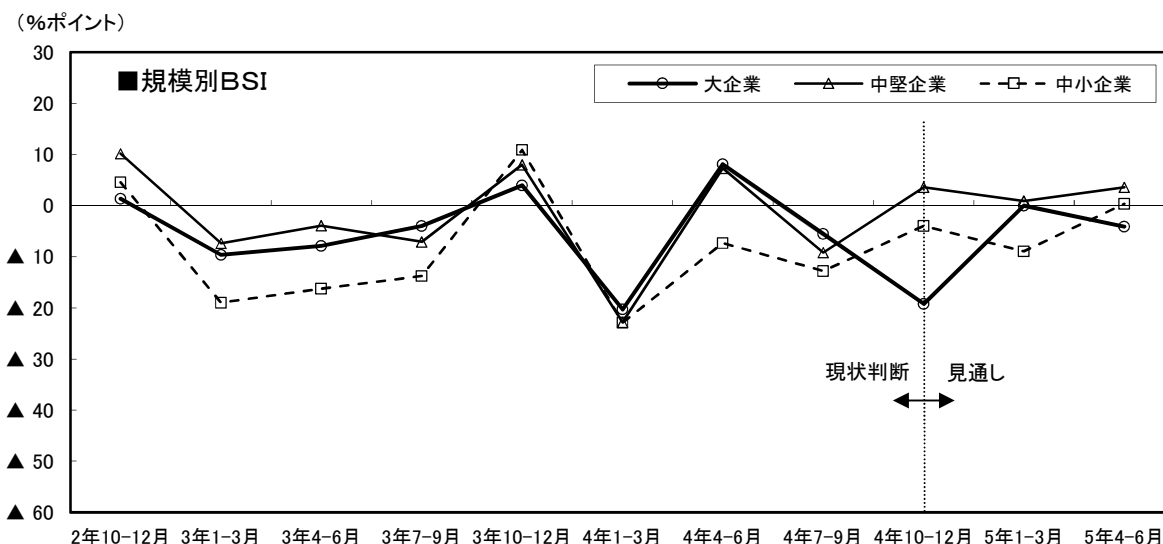
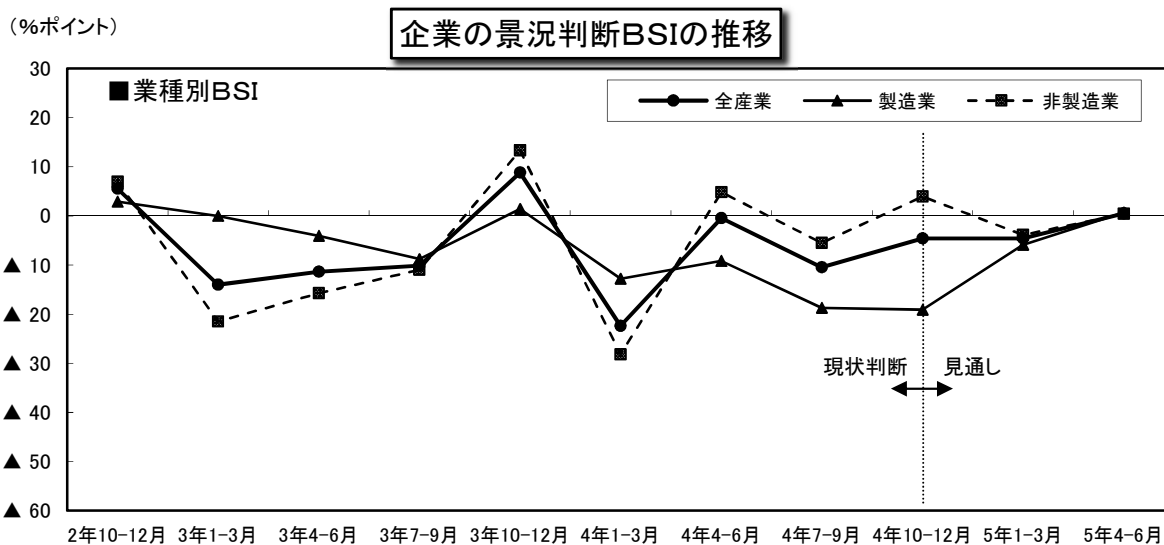
業種別にみると、

製造業では、「生産用機械」が「下降」超に転じたほか、「木材・木製品」や「パルプ・紙」などで「下降」超幅が拡大したことから、「下降」超幅が拡大している。

非製造業では、「宿泊、飲食サービス」の「上昇」超幅が拡大しているほか、「建設」、「生活関連サービス、娯楽」が「上昇」超に転じたことから、「上昇」超に転じている。

また、規模別にみると、大企業は「下降」超幅が拡大し、中堅企業は「上昇」超に転じ、中小企業は「下降」超幅が縮小している。

先行きについて全産業でみると、1~3月期は現状と同値で推移し、4~6月期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。



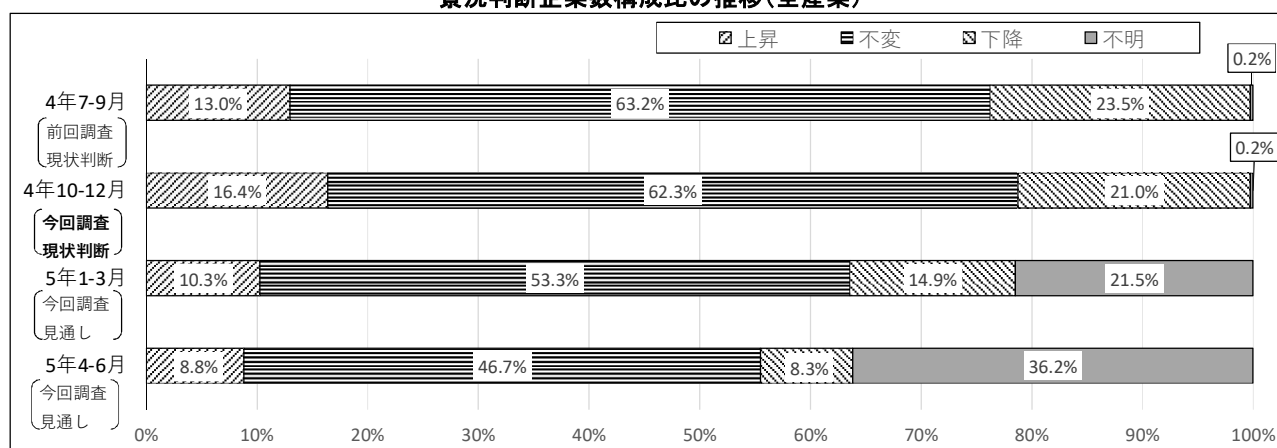
企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比・原数値)

(単位: %ポイント)

	4年7~9月期 前回調査	4年10~12月期 現状判断	5年1~3月期 見通し	5年4~6月期 見通し
全産業	▲ 10.5	(▲2.5) ▲ 4.6	(▲4.2) ▲ 4.6	0.5
製造業	▲ 18.7	(▲12.3) ▲ 19.1	(▲4.5) ▲ 5.9	0.7
食料品	▲ 13.3	14.3	0.0	14.3
繊維	▲ 10.0	0.0	▲ 20.0	▲ 10.0
木材・木製品	▲ 42.9	▲ 71.4	▲ 42.9	▲ 14.3
パルプ・紙	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 25.0	0.0
化学	▲ 7.7	▲ 15.4	7.7	7.7
窯業・土石	▲ 18.2	▲ 9.1	0.0	9.1
鉄鋼	▲ 28.6	14.3	▲ 14.3	0.0
非鉄金属	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 66.7	33.3
金属製品	▲ 12.5	0.0	0.0	12.5
はん用機械	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 14.3	0.0
生産用機械	6.7	▲ 26.7	26.7	13.3
業務用機械	0.0	▲ 33.3	33.3	0.0
電気機械	▲ 22.2	▲ 33.3	22.2	▲ 11.1
情報通信機械	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
自動車・同付属品	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
その他の輸送用機械	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 18.2
その他製造	▲ 36.4	▲ 18.2	0.0	▲ 9.1
非製造業	▲ 5.5	(3.6) 3.9	(▲4.0) ▲ 3.9	0.4
農林水産	0.0	▲ 18.2	▲ 9.1	0.0
鉱業、採石、砂利採取	▲ 60.0	0.0	20.0	20.0
建設	▲ 27.8	5.6	▲ 8.3	▲ 8.3
電気・ガス・水道	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信	0.0	13.3	0.0	6.7
運輸	▲ 5.6	0.0	10.5	10.5
卸売	▲ 13.0	▲ 27.3	▲ 13.6	▲ 4.5
小売	▲ 13.8	▲ 7.4	▲ 14.8	▲ 7.4
不動産	13.0	8.3	0.0	0.0
物品賃貸	75.0	75.0	25.0	50.0
宿泊、飲食サービス	11.8	61.1	▲ 16.7	5.6
生活関連サービス、娯楽	▲ 7.7	26.7	0.0	6.7
学術研究、専門・技術サービス	0.0	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0
医療、教育	16.7	0.0	16.7	0.0
その他のサービス	0.0	9.1	0.0	0.0
金融、保険	▲ 3.7	▲ 14.8	0.0	▲ 3.7
規模別				
大企業	▲ 5.5	(▲6.8) ▲ 19.2	(▲1.4) 0.0	▲ 4.1
中堅企業	▲ 9.2	(2.8) 3.6	(0.0) 0.9	3.6
中小企業	▲ 12.8	(▲3.5) ▲ 4.0	(▲7.1) ▲ 8.9	0.4

(注) ()書は前回調査時見通し、回答企業数が2社以下の業種は「※」

景況判断企業数構成比の推移(全産業)



(注) 端数処理のため、合計が100%とならない場合がある

2. 従業員数判断 — 現状12月末は「不足気味」超幅が拡大、 先行きは「不足気味」超幅が縮小する見通し —

現状12月末は、全産業で33.0%ポイントと「不足気味」超幅が拡大している。

業種別にみると、製造業で「不足気味」超幅が縮小し、非製造業で「不足気味」超幅が拡大している。

また、規模別にみると、大企業、中小企業で「不足気味」超幅が拡大し、中堅企業で「不足気味」超幅が縮小している。

先行きについて全産業でみると、3月末、6月末ともに「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

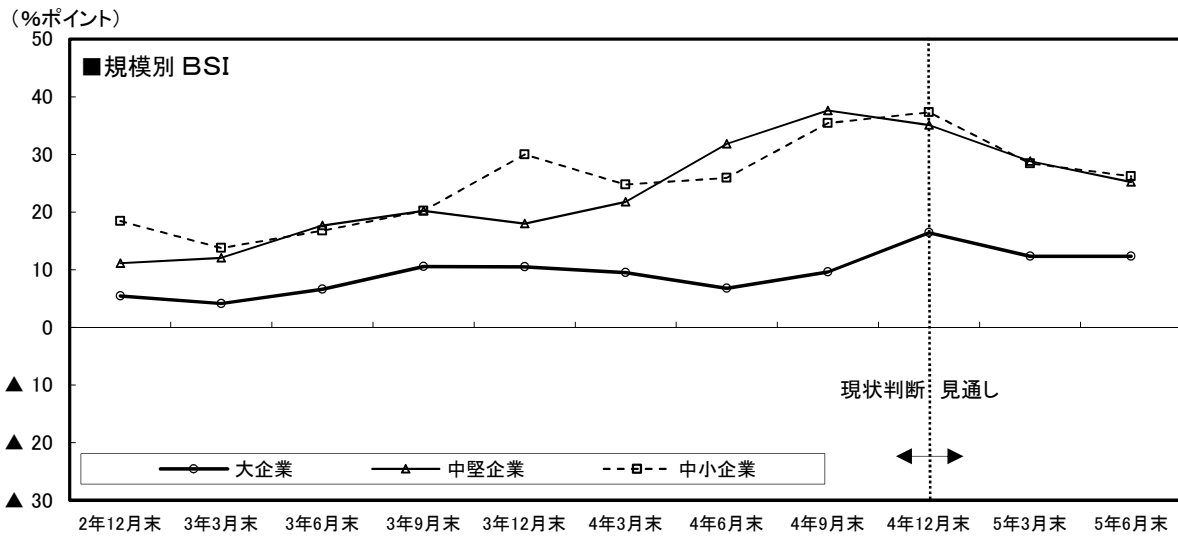
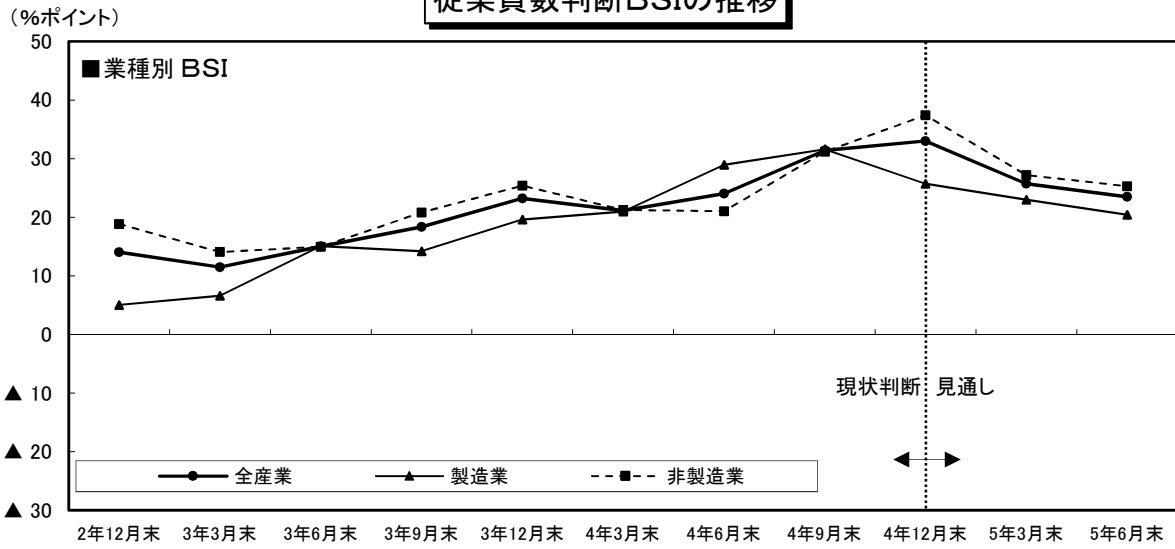
従業員数判断BSI(期末判断「不足気味」－「過剰気味」社数構成比・原数値)

(単位:%ポイント)

区 分		4年9月末 前回調査	4年12月末 現状判断	5年3月末 見通し	5年6月末 見通し
全 産 業		31.4	(23.3) 33.0	(21.1) 25.7	23.5
業 種 別	製 造 業	31.6	(21.9) 25.7	(20.0) 23.0	20.4
	非 製 造 業	31.2	(24.1) 37.4	(21.7) 27.2	25.3
規 模 別	大 企 業	9.6	(9.6) 16.4	(11.0) 12.3	12.3
	中 堅 企 業	37.6	(26.6) 35.1	(21.1) 28.8	25.2
	中 小 企 業	35.4	(26.1) 37.3	(24.3) 28.4	26.2

(注)()書は前回調査時見通し

従業員数判断BSIの推移

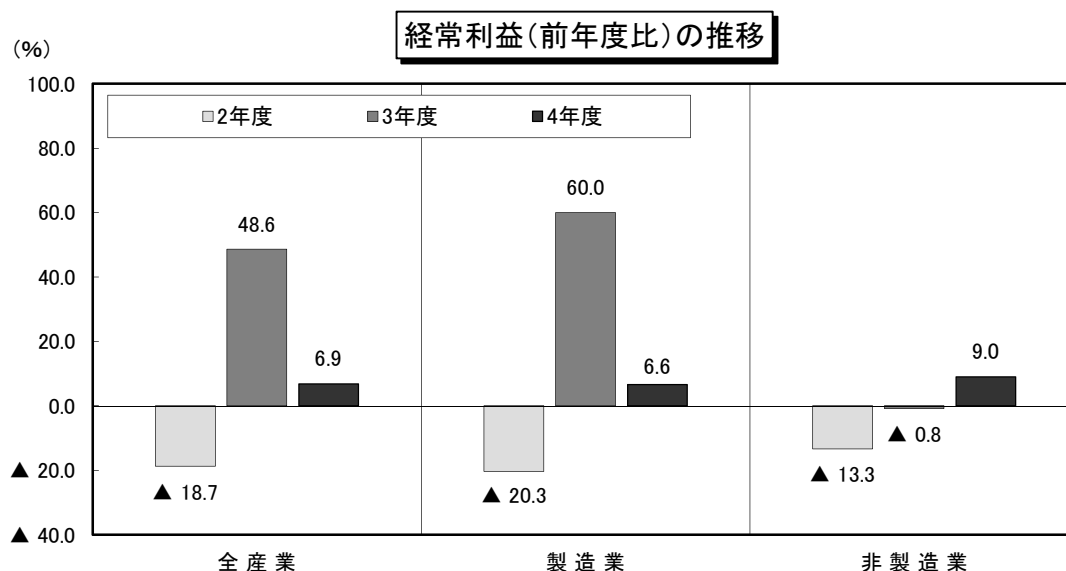
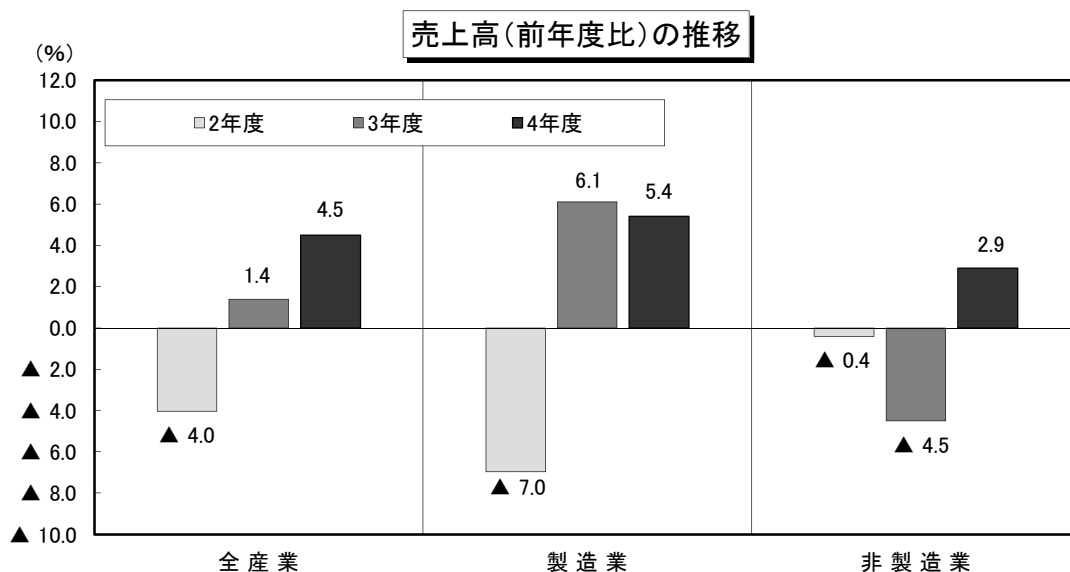


3. 売上高・経常利益 — 4年度は増収・増益見込み —

(「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本社が所在する企業)

4年度の「売上高」は、全産業で4.5%の増収見込みとなっている。
これを業種別にみると、製造業で5.4%、非製造業で2.9%の増収見込みとなっている。

4年度の「経常利益」は、全産業で6.9%の増益見込みとなっている。
これを業種別にみると、製造業で6.6%、非製造業で9.0%の増益見込みとなっている。



(注)2年度は3年1~3月期調査、3年度は4年1~3月期調査の結果

業種別（前年度比増減率）

（単位：％）

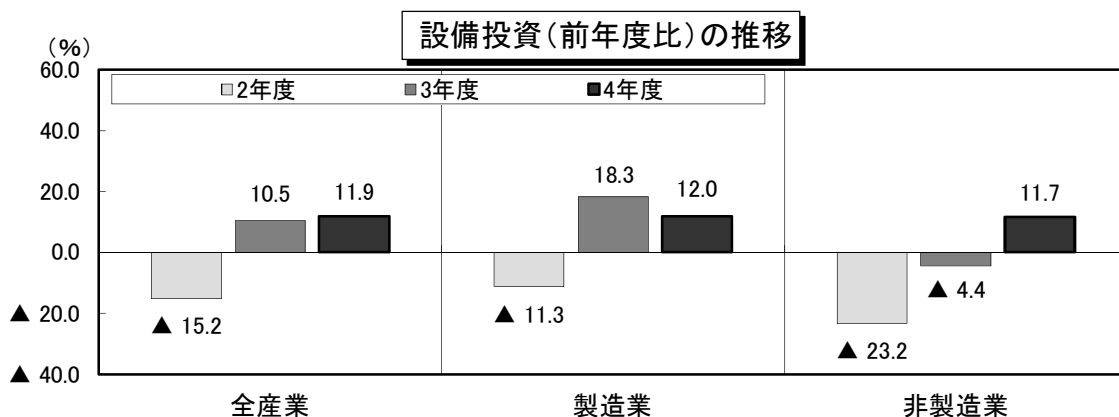
区 分		売 上 高	経 常 利 益
		4 年 度	4 年 度
全 産 業		4.5	6.9
業 種 別	製 造 業	5.4	6.6
	食 料 品	3.9	▲ 39.1
	パ ル プ ・ 紙	▲ 0.1	▲ 30.8
	化 学	6.8	38.3
	生 産 用 機 械	9.0	93.6
	電 気 機 械	▲ 5.9	▲ 32.6
	情 報 通 信 機 械	21.6	33.9
	そ の 他 の 輸 送 用 機 械	0.6	黒字転化
	そ の 他 製 造	▲ 12.2	▲ 5.4
	非 製 造 業	2.9	9.0
	建 設	1.5	▲ 12.6
	情 報 通 信	2.2	7.0
	運 輸	17.3	赤字縮小
	卸 売	3.1	▲ 2.5
	小 売	▲ 1.1	3.6
	不 動 産	0.3	▲ 14.0
	宿 泊、飲 食 サービス	45.9	赤字縮小
	そ の 他 の サービス	12.0	5.8

（注）「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本社が所在する企業

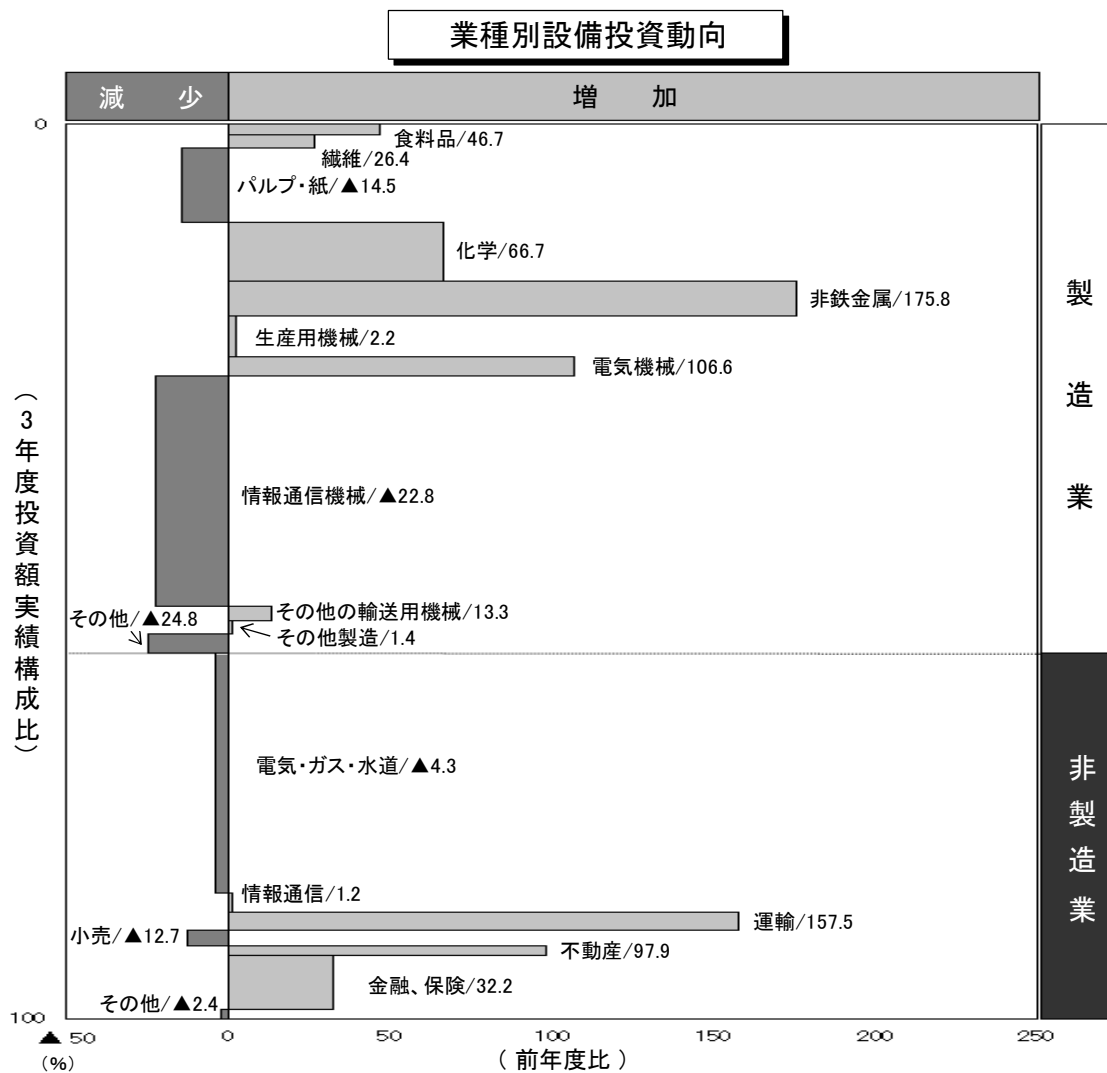
4. 設備投資 — 4年度は増加見込み — (ソフトウェア含む、土地除く)

4年度は、全産業で11.9%の増加見込みとなっている。

これを業種別にみると、製造業で12.0%、非製造業で11.7%の増加見込みとなっている。



(注) 2年度は3年1~3月期調査、3年度は4年1~3月期調査の結果



資料編

I. 今年度における設備投資のスタンス

(回答社数構成比、単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業
生産(販売)能力の拡大	50.0	37.7	45.5	58.9	58.9	60.7	47.5	66.1	43.7	22.0	43.8	54.1
製(商)品・サービスの質的向上	38.6	20.3	43.2	44.7	33.9	17.9	35.0	41.1	42.0	22.0	50.0	47.1
情報化への対応	31.9	30.4	31.8	32.6	20.2	14.3	22.5	21.4	40.2	41.5	39.6	40.0
省力合理化	51.0	52.2	50.0	51.1	62.1	57.1	67.5	60.7	43.1	48.8	35.4	44.7
環境対策	13.1	14.5	10.2	14.2	14.5	21.4	10.0	14.3	12.1	9.8	10.4	14.1
海外投資	3.4	5.8	2.3	2.8	3.2	10.7	2.5	0.0	3.4	2.4	2.1	4.7
研究開発	11.1	13.0	8.0	12.1	21.0	28.6	15.0	21.4	4.0	2.4	2.1	5.9
新事業への進出	9.7	5.8	11.4	10.6	9.7	10.7	5.0	12.5	9.8	2.4	16.7	9.4
維持更新	58.7	76.8	67.0	44.7	60.5	64.3	70.0	51.8	57.5	85.4	64.6	40.0
その他	0.3	0.0	1.1	0.0	0.8	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注1)10項目中、1社3項目以内の複数回答による回答社数構成比を記載している。

(注2)「全規模」欄については、回答社数構成比の高かった上位3項目を網掛けで記載している。

Ⅱ. 今年度における経常利益の要因

(回答社数構成比、単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業
販売数量・提供数量	63.0	35.8	73.3	68.5	62.3	30.8	61.9	75.8	63.5	39.0	83.3	64.0
販売単価・提供単価	53.9	32.8	51.1	64.2	57.7	46.2	52.4	66.1	51.3	24.4	50.0	63.0
人件費	37.6	22.4	32.2	46.9	23.8	11.5	21.4	30.6	47.1	29.3	41.7	57.0
資源・エネルギー価格	53.6	44.8	58.9	54.3	73.1	73.1	76.2	71.0	40.2	26.8	43.8	44.0
人件費及び資源・エネルギー価格以外の価格	20.4	20.9	23.3	18.5	24.6	34.6	28.6	17.7	17.5	12.2	18.8	19.0
為替相場	16.0	34.3	17.8	7.4	33.1	61.5	38.1	17.7	4.2	17.1	0.0	1.0
受取利息及び受取配当金	8.8	29.9	6.7	1.2	3.8	11.5	2.4	1.6	12.2	41.5	10.4	1.0
支払利息	5.0	9.0	2.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	14.6	4.2	8.0
資産の償却・評価(債権償却を含む)	9.7	19.4	5.6	8.0	3.8	3.8	4.8	3.2	13.8	29.3	6.3	11.0
その他	5.0	11.9	2.2	3.7	2.3	3.8	4.8	0.0	6.9	17.1	0.0	6.0

(注1)10項目中、1社3項目以内の複数回答による回答社数構成比を記載している。

(注2)「全規模」欄については、回答社数構成比の高かった上位3項目を網掛けで記載している。

Ⅲ. 判断調査項目BSI・計数項目

1. 判断調査項目BSI(原数値)

(単位: %ポイント)

項目別 規模別	業種別 期間別	全 産 業			製 造 業			非 製 造 業		
		4年	5年		4年	5年		4年	5年	
		10~12月	1~3月	4~6月	10~12月	1~3月	4~6月	10~12月	1~3月	4~6月
① 企業の景況 「上昇」-「下降」	全規模	▲ 4.6	▲ 4.6	0.5	▲19.1	▲ 5.9	0.7	3.9	▲ 3.9	0.4
	大企業	▲19.2	0.0	▲ 4.1	▲31.0	0.0	0.0	▲11.4	0.0	▲ 6.8
	中堅企業	3.6	0.9	3.6	▲20.0	▲ 6.7	▲ 4.4	19.7	6.1	9.1
	中小企業	▲ 4.0	▲ 8.9	0.4	▲14.1	▲ 7.7	3.8	1.4	▲ 9.5	▲ 1.4
② 国内の景況 「上昇」-「下降」	全規模	▲ 6.3	▲10.2	▲ 4.0	▲ 9.9	▲12.0	▲ 2.8	▲ 3.8	▲ 9.0	▲ 4.8
	大企業	4.2	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	7.0	▲ 4.7	0.0
	中堅企業	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 5.1	▲ 8.9	▲11.1	▲11.1	0.0	▲ 1.9	0.0
	中小企業	▲11.5	▲16.5	▲ 4.9	▲14.7	▲20.6	1.5	▲ 9.6	▲14.0	▲ 8.8
③※ 生産・販売などのための設備 「不足」-「過大」	全規模	5.2	3.7	4.0	1.4	2.1	2.8	7.7	4.8	4.8
	大企業	▲ 2.9	0.0	0.0	▲ 3.6	▲ 3.6	0.0	▲ 2.5	2.5	0.0
	中堅企業	8.1	5.1	7.1	0.0	0.0	2.2	14.8	9.3	11.1
	中小企業	6.6	4.4	3.8	4.4	5.9	4.4	7.9	3.5	3.5
④※ 従業員数 「不足気味」 -「過剰気味」	全規模	33.0	25.7	23.5	25.7	23.0	20.4	37.4	27.2	25.3
	大企業	16.4	12.3	12.3	13.8	10.3	10.3	18.2	13.6	13.6
	中堅企業	35.1	28.8	25.2	26.7	24.4	22.2	40.9	31.8	27.3
	中小企業	37.3	28.4	26.2	29.5	26.9	23.1	41.5	29.3	27.9

(注)※は期末判断項目

2. 計数項目(前年度比増減率)

(単位: %)

区 分		売上高	経常利益	設備投資
		(注1)	(注1)	(注2)
		4年度	4年度	4年度
全産業		<9.9> 4.5	[▲6.1] 6.9	11.9
業種別	製造業	5.4	6.6	12.0
	非製造業	<15.3> 2.9	[▲27.8] 9.0	11.7
規模別	大企業	<15.7> 5.6	[▲4.9] 11.4	13.7
	中堅企業	<3.4> 3.4	[▲9.6] ▲4.8	14.4
	中小企業	4.2	▲12.5	▲13.9

(注1)「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本社が所在する企業

< >は「金融、保険」を除き「電気・ガス・水道」を含む、[]は「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を含む

(注2)ソフトウェア含む、土地除く

IV. 参考資料

香川県の概要(4年10~12月期調査)

回答企業数114社(製造業37社、非製造業77社)、回収率96.6%

1. 企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比・原数値) (単位:%ポイント)

区 分		4年7~9月 前回調査	4年10~12月 現状判断	5年1~3月 見通し	5年4~6月 見通し
全 産 業		▲ 14.8	(▲ 7.8) ▲ 0.9	(▲ 5.2) 1.8	9.6
業 種 別	製 造 業	▲ 28.9	(▲ 26.3) ▲ 16.2	(▲ 15.8) ▲ 13.5	10.8
	非 製 造 業	▲ 7.8	(1.3) 6.5	(0.0) 9.1	9.1

(注)()書は前回調査時見通し

2. 従業員数判断BSI(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比・原数値) (単位:%ポイント)

区 分		4年9月末 前回調査	4年12月末 現状判断	5年3月末 見通し	5年6月末 見通し
全 産 業		31.3	(20.9) 27.2	(20.9) 17.5	17.5
業 種 別	製 造 業	28.9	(13.2) 13.5	(10.5) 5.4	10.8
	非 製 造 業	32.5	(24.7) 33.8	(26.0) 23.4	20.8

(注)()書は前回調査時見通し

3. 計数項目(前年度比増減率) (単位:%)

区 分		売上高 <small>(注1)</small>	経常利益 <small>(注1)</small>	設備投資 <small>(注2)</small>
		4年度	4年度	4年度
全 産 業		3.6	46.1	4.4
業 種 別	製 造 業	2.9	61.1	13.4
	非 製 造 業	4.3	16.5	2.4

(注1)「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く県内に本社が所在する企業

(注2)ソフトウェア含む、土地除く

■本調査へのお問い合わせは

電話番号 087-811-7780
財務広報相談室（内線260）又は
経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス
<https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>



しこく 